

整理番号	42-16	事務事業名	私立幼稚園振興補助事業	作成部署	管理部管理課	電話	内線886
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	部長職名	鈴木 正広	課長職名	青山 章二	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度		根拠法令等	北広島市教育関係団体補助金等交付規則、北広島市私立幼稚園補助金交付要綱、北広島市幼稚園教職員研修費補助金交付基準				
〃 終了予定年度							
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	私立幼稚園教職員研修費補助金(開始年度H10)、私立幼稚園教材費補助金(同H10)、私立幼稚園障がい児教育補助金(同H13)の3つの補助金を、事務の効率化と幼稚園の独自性を図るため各私立幼稚園に対し1つの補助事業とした。						

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	豊かな心と個性ある文化をはぐくむまち	(第 4 章)
	節	幼児教育	(第 1 節)
	施策	幼児教育の振興	(第 2 施策)
目的 (ここから成果指標を導きます)	対象 (誰、又は何を)	私立幼稚園、及び幼児	
	意図 (何をねらっているのか。対象をどのような状態にしたいのか)	教職員の資質の向上、幼児教育に係る教材教具、また障がい児教育に係る教材教具、人件費等の経費に助成することで、幼児教育の振興、幼稚園経営と保護者の負担を軽減することを目的とする。	
手段 (ここから活動指標を導きます)	16年度まで	研修費補助金:園長及び教諭に対する各種研修会の参加等 教材費補助金:折り紙、画用紙、のり、テープ、絵本等消耗品や運動マット等備品などの教材の購入 障がい児教育補助金:園外保育の付添い報酬や障がい児研修の参加、また大型絵本等の購入。	
	17年度	同上	

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

	区 分	15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	5,455	5,395	5,816	5,816
	①合計	5,455	5,395	5,816	5,816
人件費 (概算)	②人数(年間)	0.100	0.100	0.10	0.10
	③1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	④=②×③	900	900	900	900
総事業費①+④		6,355	6,295	6,716	6,716

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	各園研修等参加延回数	98回	101回	100回	100回
	教材整備事業費各園合計	6,674千円	5,958千円	6,000千円	6,000千円
	障がい児補助対象園数	3園	3園	4園	4園
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	研修等参加延人数	484人	527人	500人	500人
	障がい児幼児数	3人	5人	9人	9人
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	園児1人当たりのコスト				
	(総事業費/園児数)	7,619円	6,753円	6,409円	6,409円

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	少子化に伴う幼稚園児の減少、幼児教育と学校教育との連携や、2歳児の入園による年齢幅の拡大など、幼稚園を取り巻く課題は多くあり、各幼稚園において教諭の質的向上を図るため活発な研修活動や経営についての研究を行っている。
---------------------------------	---

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり(⇒改善の方法記入)	市内私立幼稚園の経営の安定化や教諭の資質向上を図るため妥当である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり(⇒改善の方法記入)	市内私立幼稚園の経営の安定化や教諭の資質向上が求められおり妥当である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり(⇒改善の方法記入)	各事業の確保と幼稚園の独自性を活かすために、補助金を交付するなかで事業を展開することができることから妥当と考える。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり(⇒改善の方法記入) <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない		

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	<input checked="" type="checkbox"/> 十分成果が上がっている <input type="checkbox"/> 概ね成果が上がっている <input type="checkbox"/> あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> 成果が上がっていない	研修会への参加や、教材整備が積極的に行われている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	<input type="checkbox"/> 十分効率的 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> やや非効率的 <input type="checkbox"/> かなり非効率的	H16年度から3つの補助事業を1本化し、事務の効率化を図った。	

【事務事業担当部局内優先度】

※部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか <input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C
--

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法等を記入】	<input type="checkbox"/> 拡大・重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続する <input type="checkbox"/> 統合する(検討含む) <input type="checkbox"/> 縮小する(検討含む) <input type="checkbox"/> 廃止・休止する(検討含む) <input type="checkbox"/> 終了	安定した幼児教育環境が確保されていることから、現状のまま継続する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	<input type="checkbox"/> 拡大・重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続する <input type="checkbox"/> 統合する(検討含む) <input type="checkbox"/> 縮小する(検討含む) <input type="checkbox"/> 廃止・休止する(検討含む) <input type="checkbox"/> 終了	保護者の経済的負担の軽減を図り、幼稚園運営の健全性を確保するため、現状のまま継続する。

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	42-16
------	-------

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	幼稚園振興補助金		
交付先の名称及び代表者名	広島天使幼稚園 理事長 地主敏夫 他7名	設立年	
構成員(団体)数	市内私立幼稚園8園 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	幼児教育の振興		
交付先団体等の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員研修:園長及び教諭に対する各種研修会の参加等 ・教材整備:折り紙、画用紙、のり、テープ、絵本等消耗品や運動マット等備品などの教材の購入 ・障がい児教育:園外保育の付添い報酬や障がい児研修の参加、また大型絵本等の購入 		
事務局の状況(16年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体にある	<input type="checkbox"/> 市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	<input type="checkbox"/> 運営費のみに充当	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費のみに充当	<input type="checkbox"/> 運営費・事業費の双方に充当

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	
収 入	本市補助・交付金の額(A)	5,455	5,395	5,816	
	園費	5,816	9,552	10,978	
	その他		160		
	収入合計(B)	11,271	15,107	16,794	
支 出	研修費(講習会,研究会,視察)	4,395	5,255	5,995	
	教材費	6,674	5,958	4,672	
	障がい児教育費	202	3,894	6,127	
		11,271	15,107	16,794	
繰越金	収入(B)－支出(C)	0	0	0	
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		48 %	36 %	35 %	
補助・交付金の対象経費(項目)		全項目	全項目	全項目	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		11,271	15,107	16,614	
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		48 %	36 %	35 %	
補助・交付金の算出根拠	平成16年度から私立幼稚園教材費補助金、幼稚園教職員研修費補助金、幼稚園障がい児教育補助金が1つに統合した。				